

平成26年度 カリキュラム委員会（第4回）議事要旨

- 日時：平成26年11月21日（金） 15:00～16:00
- 場所：全学教育管理・講義A棟 6階 大会議室
- 出席者：委員長 箕島（実施調整部長）
委員 下田（機構長）、堤（文）、中野（文）、野村（人）、竹村（景）（言（外））、
青木（法）、福田（経）、関口（経）、宮地（理）、杉山（理）、藤本（理）、岡
村（理）、廣野（理）、和佐（医）、中村（歯）、中川（晋）（薬）、下平（基）、
北村（言）、三宅（言）、我田（言）、松本（言）、松繁（国公）、中川（博）（情
（基））、大谷（国セ）、宮久保（博）、清川（サ）、窪田（全教）、森（全教）、
坂東（全教）、岩居（全教）、山口（全教）、小松（全教）
オブザーバー 梅下（医保）
- 欠席者：竹村（治）（企画開発部長）、竹中（カレッジ）、青野（人）、坂口（法）、宮崎（理）、
佐藤（医）、南方（工）、西田（保セ）、阿部（サ）、宇野（全教）
- 陪席者：大山特任助教（TLSC）、田口事務長、都々木教務係長、藤田教務係主任、小坂教務係
員

議事に先立ち委員長から、前回の本委員会議事要旨（資料1）の確認があった。

議 題：

報告事項

- 平成27年度専門基礎教育科目におけるG30（化学・生物学複合メジャーコース）開講科目の一般学生への開放について（資料2）
委員長から、資料2に基づき、第2回の本委員会（7/18）で承認された専門基礎教育科目17科目（数学4科目、物理学3科目、化学5科目、生物学5科目）の一般学生への開放について、各学部長宛に照会した結果、以下のとおり取り扱う旨報告があった。
 - 法学部：数学（全4科目）のみ選択科目とする。
 - 理学部：数学（全4科目）、化学（4科目）、生物学（4科目）を「その他」（卒業要件単位）とする。また、Introductory Chemistry 1・2と対応するExercise Sessionの合計8単位を履修した場合に限り、基礎化学1・2の4単位に読替え可能とする。
 - 基礎工学部システム科学科（生物工学コース）：全科目を選択科目とする。
 - 工学部応用自然科学科：全科目を選択科目とする。
 - 上記以外の学部学科：自由科目（卒業要件外）とする。
- 平成27年度知のジムナスティックス（高度教養プログラム）開講科目について（資料3）
委員長から、資料3に基づき、計18科目をプログラムに提供する旨報告があった。
- 平成27年度全学共通教育学年暦について（資料4）
委員長から、資料4に基づき報告があった。
なお、年間スケジュールについて、平成26年度入学者からGPA制度が導入されているため、履修取消期間（1学期：5月下旬、2学期：11月上旬）を設定している旨説明があった。

4. 平成26年度第1学期成績結果の誤記入等に関する申立て状況について（資料5）

委員長から、資料5に基づき報告があった。

なお、受付件数58件のうち13件（約22%）の成績訂正があったことに対して、申立制度開始当初から訂正の割合は減少しているものの、成績結果の誤記入等を未然に防止するため、引き続き点検作業・入力確認を十分に行っていただくよう各部局の関係教員に周知いただきたい旨発言があった。

協議事項

1. 平成27年度情報処理教育科目「サイバーサイエンスの世界」の廃止について（資料6）

委員長から、資料6に基づき、情報処理教育科目「サイバーサイエンスの世界」を平成27年度より廃止したいとの提案があった旨説明があった。引き続き、科目開設・廃止に係る経緯、他の2科目で受講者数が収容可能となること、科目の内容を他の科目に引継ぐこと等の説明があり、審議の結果承認された。

2. 平成27年度医学部医学科入学者の第1外国語（英語）授業科目名の変更及び英語上級科目の増設について（資料7）

委員長から、資料7に基づき、医学部医学科において第1外国語（英語）を「大学英語3単位、実践英語・専門英語3単位」から「総合英語・実践英語6単位」に変更したいとの提案があった旨の説明があった。引き続き、医学部医学科におけるカリキュラム改編（新授業科目名、習熟度クラス編成等）の経緯、ならびに全学的な英語上級科目の増設について説明があり、審議の結果承認された。

3. 平成27年度開講授業科目等について（資料8）

委員長から、資料8に基づき以下の説明があり、審議の結果承認された。

- ・資料は前回（9/19）本委員会です承された担当部局、開講曜日・時限、コマ数等に基づき各部局に担当教員の選出を依頼し、回答を取りまとめたものであり、各部局から変更の連絡があった箇所は反映されている。
- ・全学教育推進機構教授の定年退職に伴い、後任補充は旧外大（留保）ポストで助教となる予定のため、平成27年度は引き続き同教授が非常勤講師として基礎教養2「生命科学の考え方」「文系学生のための科学実験（生物実験の3回分）」及び基礎教養3「現代生命科学の基礎」の計3科目を担当する。
- ・生命機能研究科教授の定年退職に伴い、平成27年度は同教授が担当していた基礎教養3「現代生命科学の基礎」を、グローバル30の外国人教員による英語講義に変更する。

なお、本資料は時間割データやシラバスを作成する際の基礎資料となるため、未確定部分については速やかに決定いただき、本機構教務係へ連絡いただきたい旨発言があった。

4. 授業概要（シラバス）の作成方針について（資料9）

委員長から、資料9に基づき以下の説明があり、審議の結果承認された。

- ・シラバスの作成にあたっては、「シラバスフォーマットの改定について」（第3回教育改革推進会議・平成26年9月18日改定）の本文、記入例等に留意いただくこととする。
- ・フォーマットの改定に伴い、「授業形態」、「開講言語」、「授業外における学習」が新規項目として追加となる。
- ・「授業計画」について、第1回から第15回までを授業の回ごとに内容を記載するようにフォーマットが変更される。

また、同一科目間での授業計画統一の必要性について発言があり、これを受けて委員長から、授業内容が同じであれば、同一科目であっても講義順等の記載が異なっても構わない旨発言があった。

5. 平成26年度授業担当教員等の変更等について（資料10）
委員長から、資料10に基づき説明があり、審議の結果承認された。

●その他配付資料

カリキュラム委員会（第3回）議事要旨（資料1）

次回開催： 平成26年12月19日（金） 15：00～（予定）